

JB Customer Report

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画推進課

お客様の
ご紹介

金神社様

金神社様は、岐阜市金町で古来より産業繁栄、財宝・金運招福、商売繁盛の御神徳あらたかな神として、篤い信仰を集められている神社です。金神社様では、町内に配布する回覧資料や事務書類、イベントに使う賞状、御朱印帳に挟む和紙の印刷、上袋（お守りやお札を入れる袋）、神社内の掲示物等、様々な印刷を行っています。現在ご使用のLX-10050の感想を印刷担当の飯沼様にお伺いしました。



辛かった印刷を一瞬でこなす優れもの

最初にLX-10050を知ったのはジムブレーンの営業さんからの紹介でした。当初は印刷機RZ670、RICOHの複合機、FAX機の合計3台の機器を併用していましたが、メイン機であった印刷機RZ670の不調をきっかけにLX-10050への一元化の提案をしてもらいました。これまで印刷機で多枚数の印刷を行っていましたが印刷機はインクの特性上どうしても『乾かす』という時間が必要でした。一番大変だったのはハガキと賞状印刷で、これは非常に古典的ですがハガキは印刷後1枚ずつタウンページに挟んで乾くのを待っていました。賞状の印刷に関してはサイズが大きくタウンページに挟むわけにもいかない為、5枚ずつ手に取り都度廊下に並べて乾かす作業をしていました。常に機械につきっきりで半日の時間を印刷に費やしていましたが、LX-10050を導入して劇的に環境が変わりました。

この非常に大変で時間もかかる印刷を初めてLX-10050で行った時のことを今でも鮮明に覚えています。印刷設定をしてスタートボタンを押し、着替えに行って戻ったらもう全ての印刷が終わっていましたね。半日かけて行っていた印刷がたったの10分で終わるなんて正直これまでの苦労は何だったのかとその処理能力に衝撃を受けましたね。さらに印刷機は事務所奥のエアコンのない部屋に設置してありましたので夏の印刷は地獄のように暑く冬は寒さで手足がかじかむ中での作業でした。3台を一元化したことによりエアコンのある事務所内に機械を置くことが出来るようになり、その点でもかなり嬉しいです。



LX-10050でないといけなかった理由

最初にお話しした通り、当神社では様々な印刷を内製化していますが中でも御朱印帳に印を押したときにインクや墨が反対のページに写らないようにする為に挟む用の和紙は、使う頻度が高く一度に1,000枚、またはそれを越える量の印刷を行っています。印刷器機入替の際、この和紙への印刷が出来る事が大前提でした。レーザー機では用紙が薄すぎるため和紙への印刷は不可能でしたが、インクジェット機LX-10050ではこれを実現することが出来ました。3台を一元化することも目的としていたため、印刷が高速でかつ機能面、特にFAXが付いている事が重要でLX-10050はそれを十分満たしていましたが、それに加えて印刷のコストダウンも同時に図れ、私達の全ての要望が叶いましたね。ジムブレーンさんからLX-10050を紹介いただいた時は運命的な出会いだと思いましたよ！

更に、SDGsを意識する世の中ですがインクジェット機のLX-10050は以前使っていたレーザー機に比べ消費電力が非常に少なく環境にも配慮していてインクジェット機のLX-10050を使う事で同時にSDGsの取り組みもできる為その点でも気に入っています。今後も益々LX-10050を活用していきたいと思っております。

営業担当者の声

当初、導入条件であった御朱印帳に挟む和紙の印刷に不安がありましたが機械の貸出にて検証を行い払拭する事が出来ました。改めて今回の取材でお客様が笑顔になって下さっている事が分かり、非常に嬉しく思います。今後もお客様の期待に応えられるようにしっかりサポートしていきます！



営業担当：谷貝 太志